

子ども俳句だより



平成28年度 1月・2月 井口台小学校校長室

今年もさっそく俳句をたくさん投稿してくれてありがとうございます。一句一句にみなさんの思いを感じることができ、うれしいスタートとなりました。今年も生活のいろいろな場面で、感じたことや思ったことを俳句にすると楽しいと思います。

【今月の大賞】

「柳枝（やなぎえだ）雪（ゆき）にかくれて 新芽（しんめ）かな」

6年 岡田彩愛

枝につもった雪を見ていると、その雪の下に春を待つ新しい芽が見えたのですね。「かくれて」の表現がいいですね。今の季節にぴったりですね。

【入選】

「ふる雪をとらえようとする幼い手」6年 小松美嘉

小さい兄弟が雪をつかま^{くれない}えようとしているのでしょうか。かわいい姿ですね。

「白い雪つばきの紅そめあげる」6年 馬場希咲

雪の白とつばきの赤の色の対比（たいひ）がすてきですね。

「雪積もるぼくの足あと底ふかい」5年 谷口蒼空

足あとの深さで雪がたくさんふった様子を表していますね。上手い表現です。

「オリオン座空にかがやきまちてらす」5年 山本幸奈

冬の星座は一年中で一番美しいですね。幸せな光景ですね。

「雪だるまさむい所に一人立ち」4年 森本結月

雪だるまに向けるやさしい気持ちが感じられますね。

【今月のおすすめ俳句】

春雨（はるさめ）のあがるともなき

明（あか）るさに 星野立子（ほしのたつこ）

春雨は静かに音もなく降ります。草木が芽吹いているので、雨とても明るく感じます。「春雨じゃ、ぬれて参ろう」という昔の名ぜりふもあります。「ねんてん先生の俳句の学校」教育画劇



【今月のお題】春○○，○○春

早春、春寒、春風、春雨、春の虹、春雷、春の土、春一番、春の月
まだ寒いけれど新しい季節が待ち遠しくなる春のつく言葉ですね。